

## 子ども全国センターの紹介

子どもの権利・教育・文化 全国センター(略称 子ども全国センター)は、2000年5月19日に「子どもと教育・文化を守る国民会議」と、「子どもの権利条約をすすめる会」が合流して発足しました。

これまで二つの会に参加していた子どもに関わる団体をはじめ、女性団体、文化・スポーツ団体、教職員組合、労働組合など中央、各地の諸団体、また個人の方々もふくめて、約百あまりの団体・個人の参加によってスタートしました。

そして、憲法・教育基本法・子どもの権利条約の理念にたち、次のような活動にとりくんでいます。

1. 子どもたちをめぐる状況に関わるテーマで、シンポジウム、講演会、連続講座、懇談会など、学習と交流の場を設けたり、共同して行政への要請を行います。
2. 子どもに関わる情報の収集・調査・報告などを会員の団体や個人へ還流し、またニュースの発行や出版を行います。
3. 子どもの権利条約に関する国連子どもの権利委員会の勧告がいかせるように、省庁や自治体への要請とともに、子どもたちの意見表明と参加の権利がいつでもどこでも保障されるようにとりくみます。
4. もうけ第一主義のメディア問題にメスを入れ、スポーツのギャンブル化に反対し、子どもの立場にたった民主的な文化・メディア・スポーツを発展させるようにとりくみます。
5. 「日本の教育改革をともに考える会」の報告・提案などをもとに、子どもの声に耳を傾け、父母・教職員・市民が討論をしながら、地域に根ざした草の根の教育改革をすすめます。

このような活動のために、会員の参加による各分野のプロジェクトを設けてすすめています。

21世紀に、子どもたちが人間として大切にされる社会を築くためには、より広範な団体・個人の方々とともに手を結び、大きな運動を起こしていくことが求められています。私たちの会の活動もその一翼を担えるようにと願っています。

ぜひ、あなたも私たちと一緒に子どもたちの未来を拓くこの活動に参加して下さるよう呼びかけます。